

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名 倉富 史枝	職名 特別契約教員Ⅲ教授	学位 修士(文学)(久留米大学1995年)
----------	--------------	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
ジェンダー論 家族社会学	ジェンダー構造、企業中心社会 日本型近代家族、性別役割分業

研究課題
ジェンダー論に関して日本の近代化に伴うジェンダーの構造化を中心に考察する。また、ジェンダー意識の形成の過程と現在の意識変容を把握し、今後の女性と男性のキャリア形成連についても考察する。

担当授業科目
ジェンダー論(前期)(英語学科・観光文化学科)(後期)(看護学科) キャリア開発(後期)(保健福祉学部及び人文学部の全学科1年次) 女性史(後期)(保育科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【ジェンダー論】</p> <p>CM映像やアニメや絵本などを教材として使用し、学生の関心を高めた。その後の授業でも、講義以外の生活の場でも学習の目を向けるよう教材を選んだ。英語学科・観光学科においては、国際的な視野で日本の現状の課題を考えられるように、看護学科においてはケアにおけるジェンダー概念を課題にするなど、学科に合わせて課題を変えた。</p>
<p>授業科目名【キャリア開発】</p> <p>多様な分野から外部講師から講師を招き、多角的な視野でキャリア形成ができるよう支援した。講義内容を自分のキャリアと結び付けて考えられるよう、毎回コメントシートを記載させた。</p>
<p>授業科目名【女性史】</p> <p>現在の日本の女性の意識形成のルーツをたどるという趣旨で、主に明治以降と第2次世界大戦後の教育や政治体制を対比させ、さらに、学生の現状と重ね合わせることで学習意欲を高めた。保育科の学生として、今後の雇用者の就労支援としての保育と結び付けられるよう、課題を提供した。</p>

学会における活動		
所属学会等の名称	役職名等(任期)	加入時期
西日本社会学会	会員	1993年9月
日本社会分析学会	会員	1993年10月

2018年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 特になし				
(学術論文) 特になし				
(翻訳) 特になし				
(学会発表) 特になし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
特になし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
特になし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
苅田町男女共同参画推進委員		2001年4月～現在に至る
福岡家庭裁判所家事調停委員会	家事調停委員	2004年4月～現在に至る
福岡家庭裁判所参与員		2004年4月～現在に至る
春日市男女共同参画審議会	会長	2011年5月～現在に至る
遠賀町苦情処理委員		2013年4月～現在に至る
福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団		2014年4月～現在に至る
大木町男女共同参画推進協議会		2015年3月～現在に至る
古賀市男女共同参画審議会	会長	2015年4月～現在に至る
大川市男女共同参画推進協議会	会長	2015年9月～現在に至る
福岡県人権施策推進懇話会		2016年4月～現在に至る
志免町男女共同参画推進審議会	会長	2017年4月～現在に至る
福岡県エイズ・性感染症対策推進協議会		2017年7月～現在に至る
福岡女子大学ハラスメント等事案に係る第三者調査部会		2018年10月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
特になし

